

県PFI協会設立総会

初代会長に
谷村氏



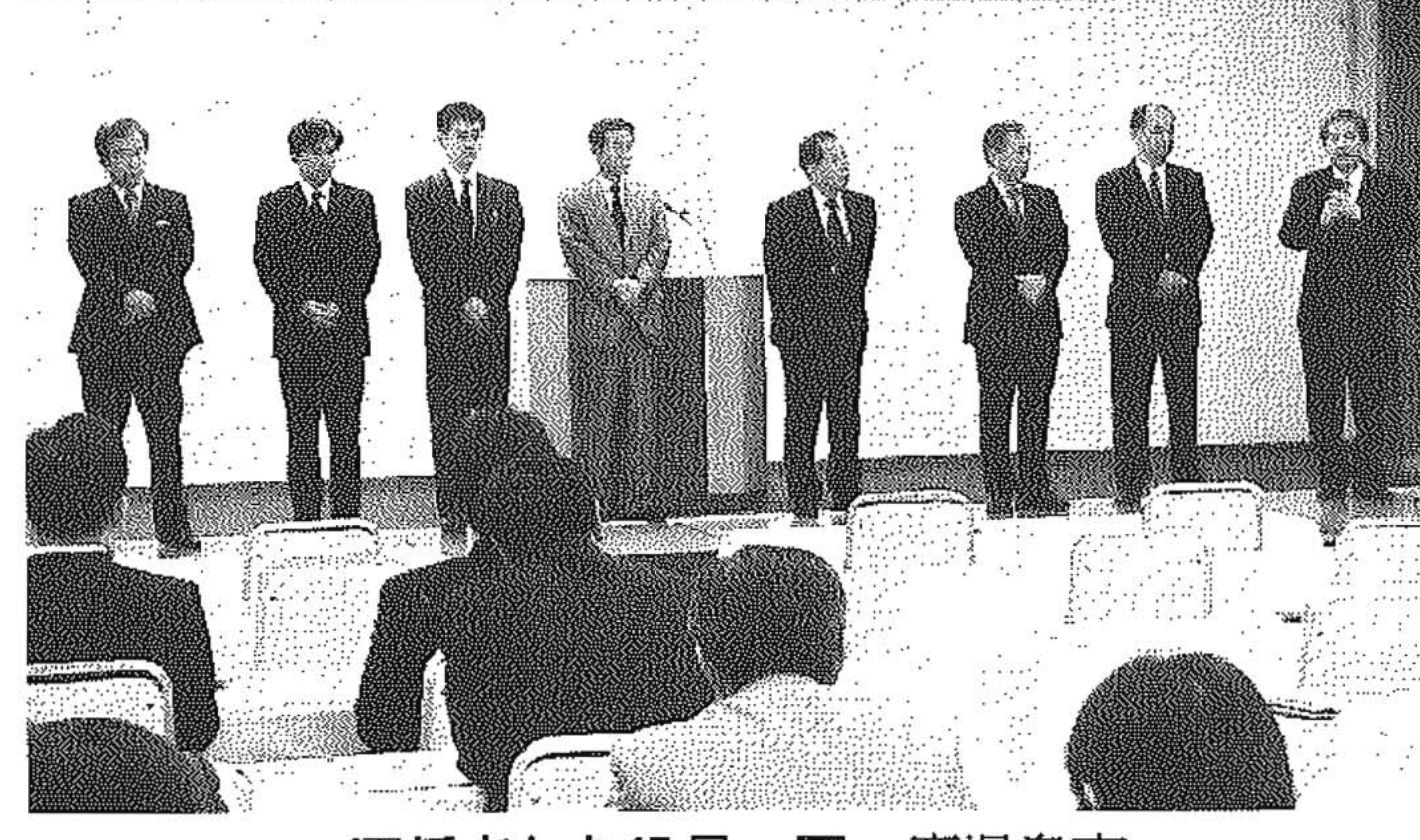
谷村義紀初代会長

地域密着型で参画を

方々の英知と資力を結集すること。6月から協会設立に向けた準備を進め、今日の設立総会に至った。総会では、議長に発起

県PFI協会の設立総会が1日、鹿児島市のジエイドガーデンパレスで開かれ、PFI事業等の情報収集・研究等を重点事項とする初年度事業計画を決定することにも、初代会長に谷村義紀氏(協同組合鹿児島みらい研究所理事長)を選任した。

鹿児島県PFI協会設立総会



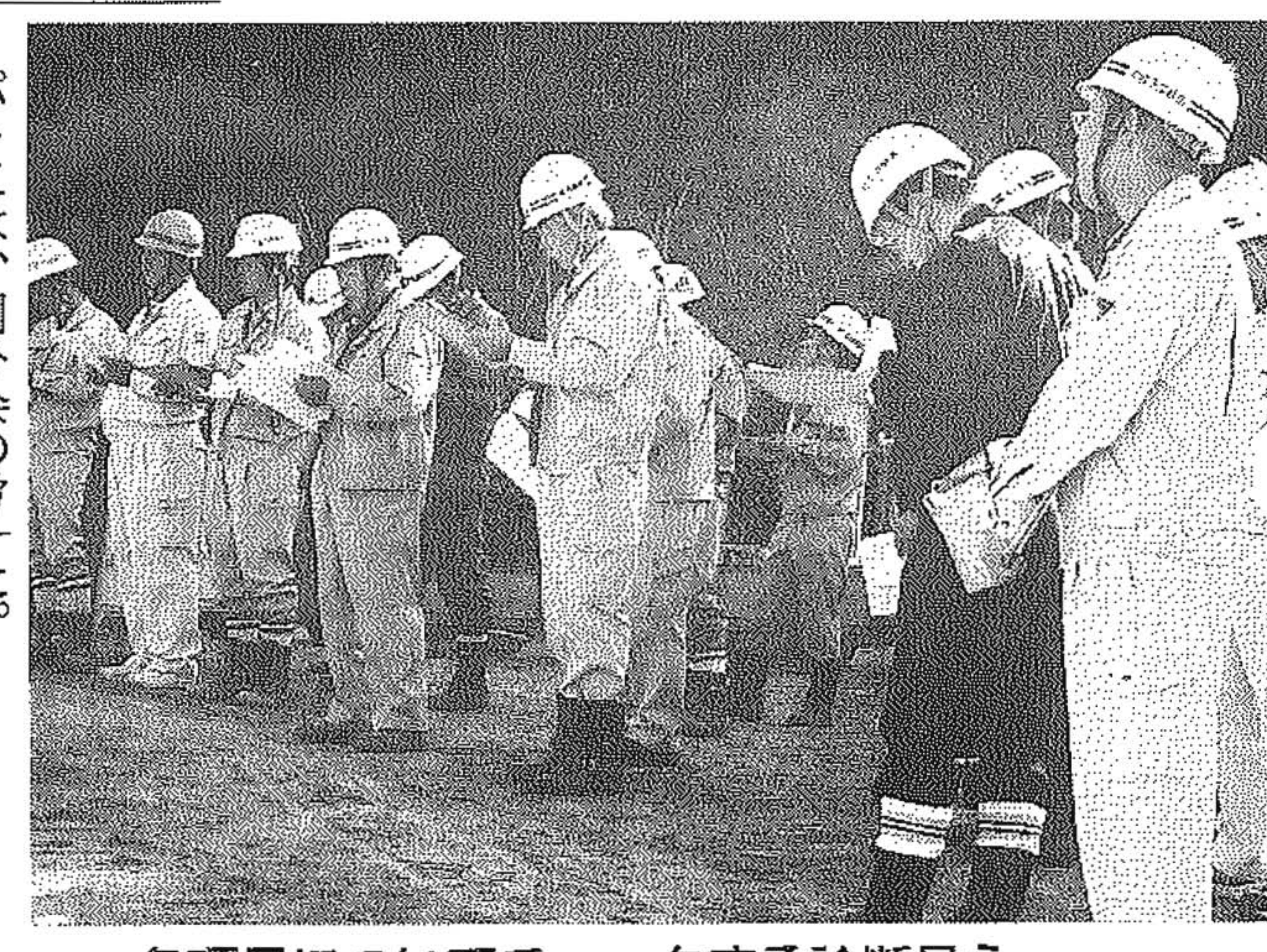
選任された役員一同＝鹿児島市のジエイドガーデンパレスで

総会終了後は、パシフィックコンサルタンツ(株)の廣正人PFI事業部長が、地方自治体を取り組むPFIの課題として「公共サイドから見たPFI」、パシフィックプログラママネージメント(株)の坂井俊彦投資金融プログラマ部長が、民間事業者から見たPFIとして「PFI参画のポイント」と題してそれぞれ講演を行った。

事業計画の重点事項は、①PFI事業の全国的な情報、また県、市町村、議会等に取材した情報の提供、②カリキュラムを作成し、PFIの教育を実施、③指宿市の事例など視察研修、④会報の配布など。

建災防種子島分会パト

安全サイクル等点検



各項目についてチェックする診断員ら＝西之表市の現場で

初代役員は次の通り。森田隆人▽理事▽岡部龍一(肥後勝司)▽副会長(肥後勝司) 中央工業(公認会計士) 池田浩明(武田敏郎) 中央工業(司法書士) 田上光一(全国警備保障)

パトには、同分会の労務委員や各発注機関の職員らが参加。西之表地区と中種子・南種子地区の2班に分かれ、作業現場の災害防止対策や建設機械の点検、書類管理などの各項目について診断した。

西之表地区では、同市内の通常砂防(平田の小川)や統合河川整備(湊川1、2工区)、中種子は、中種子町の特殊改良一種(下田工区)野間島間港線や南種子町の基盤

県建築士会(川上道夫会長)のCPD・専攻建築士専門委員会(藤宮宏文委員長)は1日、16年10月にCPDデータ登録(192人)を実施した結果から、同制度が協会各社に浸透しつつあると判断、17年1月から専攻建築士制度を開始することを明らかにした。同制度は、消費者保護の観点に立ち、高度化しつつ多様化する社会のニーズにこたえるため、建築士の専門分化に対応した、専門領域及び専門分野を明示し、格取得後の専攻領域の

来年1月にスタート

実務経験年数が必要年数以上であること③当該領域の責任ある立場での実務実績が3件以上あることなど。同制度スタートにあたりCPD・専攻建築士専門委員会では、17年1月に申請についての案内を行い、2月に申請受理、3月に予備審査を実施する予定。最終的には、7月に県審査評議会(仮称)で審査、8月末の連合会の審査評議会での審査を終えたいとしている。問い合わせは、県建築士会事務局(099・222・2005ホームページhttp://www.sakurajima.or.jp/)まで。



栄えある受賞者を称える森山会長＝鹿児島市の鹿児島東急インで

鹿児島市職業訓練協会等

功績称え、労ねぎらう

鹿児島市職業訓練協会(森山清隆会長)と鹿児島高等技術専門学校(鮫島純男校長)は1日、鹿児島市の鹿児島東急インで16年度忘年会・表彰祝賀会を開き、関係者約70人を招き、受賞者の功績を称え、1年間の労をねぎらった。会では、初めに森山会長が「今年も多くは諸先輩方が栄えある賞を受賞され、誠にめでたかった。功績を称え、労をねぎらう。引き続き、来賓の赤崎義則鹿児島市長が「技能は欠くことのできない大事なものである。今後も技能向上に努め、後継者育成、産業発展のために尽力していただきたい」と述べた。このあと、祝宴に入り、出席者らは終始和やかな雰囲気の中、酒を酌み交わし、全員で今年1年の労をねぎらった。

水道事業実務者セミナー

水資源の確保等解説

「水環境の現状と水道法改正への対応」をテーマに、1日、「水道事業実務者セミナー」が、東洋環境分析センター(株)で開催された。東洋環境分析センター(株)が鹿児島市の市民文化ホールで開かれ、離島を含む県内の自治体から関係者約80人が出席。水資源の確保や水質検査の在り方などを学んだ。



この日は、同センター品質保証室の大園剛男課長や鹿児島大学工学博士の吉田昌弘助教授、福島県三春町の遠藤誠作企業局長の4氏が水質検査計画策定への対応などについて講演した。